

学校法人 滋慶学園 東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校 学校関係者評価委員会 評価シート

【平成27年6月21日実施】

平成26年度自己点検自己評価(平成26年4月1日～平成27年3月31日)による

大項目	自己評価	総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりのご意見
	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
1 教育理念・目的・育成人材像	4	<p>学校法人滋慶学園 東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校(TSM)は、学校法人滋慶学園グループ(※1)に属し、「職業人教育を通じて社会に貢献していく」ことをミッション(使命)としている。</p> <p>「3つの建学の理念」(「実学教育」(※2)「人間教育」(※3)「国際教育」(※4))を実践し、「4つの信頼」(①学生・保護者からの信頼 ②高等学校からの信頼 ③業界からの信頼 ④地域からの信頼)を得られるように学校運営をしている。</p> <p>建学の理念に基づき、東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校は、『音楽&エンタテインメントを通して、人に喜びや感動を与えられる「即戦力」の人材として就職&デビューすること』を目的に学校運営をしている。</p> <p>現在、音楽&エンタテインメント業界を取り巻く社会の環境は大きく変化している。業界に必要な人材を業界と共に育成していく『産学協同教育システム』を教育の柱とし、業界・企業との連携を深め人材の育成を実現してきた。</p> <p>また、職場で求められる知識・技術の高度化や、より付加価値の高い人材が必要とされている背景から、本校では2年制課程のみならず、3年制課程も設置するとともに、国内だけでなく世界で活躍できるグローバル人材の育成にも力を入れ、「TSM」としてのブランド確立を目指す。</p>	<p>音楽&エンタテインメント業界が求める「即戦力」として活躍出来る人材育成のために「産学協同教育」のさらなる実践を目指し、企業とのつながりをより強固なものとし、学校の教育に理解を深めていただくことに注力する。</p> <p>そのための新たな「企業プロジェクト(現場実習、企業課題)」を企業とともに構築していく。</p> <p>また、時代の変化に対応するため、教育課程編成委員会や講師会を通じて、常に業界からの意見を取り入れ、カリキュラムの改善を図っていく。</p>	<p>(※1)「学校法人滋慶学園グループ」昭和51年の創立以来、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことを目的に、全国に専門学校・教育機関を設置し、建学時から変わらない「3つの理念」(実学教育、人間教育、国際教育)を実践することで、「4つの信頼」(学生・保護者からの信頼、高等学校からの信頼、業界からの信頼、地域からの信頼)を得るコンセプトを掲げ、業界に必要な人材を業界と共に育成してきた。</p> <p>医療・福祉・美容・調理・製菓・バイオ・スポーツ・クリエイティブ・エコ・音楽・ダンス等、多岐にわたる分野で北海道から福岡まで69校を有する。</p> <p>(※2)「実学教育」スペシャリストが求められる時代に即し、業界に必要な人材を業界と共に育成する専門学校として、即戦力となる知識・技術・現場力を教授する。一人一人の個性を活かし、それぞれの業界で力が発揮できるように構築してきた。</p> <p>(※3)「人間教育」キャリア教育の一環として、開校以来、『今日も笑顔で挨拶を』を標語に掲げ、他人への思いやりの気持ちやコミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキル等を身につけ、同時にプロ・社会人としての身構え・気構え・心構えを養成する。</p> <p>(※4)「国際教育」コミュニケーション言語としての英語を身につけるだけでなく、日本人としてのアイデンティティを確立した上で、広い視野でモノを捉える国際的感性を養う。</p> <p>音楽/ダンス系全校の教務部から構成される「パフォーミングアーツ教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スケールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。</p>	④・3・2・1	<p>申し分ないと感じております【井上】</p> <p>3つの建学の理念について、私も非常に賛同しております。【川崎】</p> <p>「実学教育」については、これからの時代のニーズに則して常に変化させていって頂きたい。【山口】</p> <p>大変共感出来ます。すぐれたビジョンをふれることなく長年に渡り持つことで、多大な成果を産んでいるように思う。【勝守】</p> <p>業界の変化に敏感に対応されていると思います。現場だけでは無い教育にも力を入れられると尚いいと思います。【高橋】</p> <p>「人間教育」「国際教育」についてはもっと力を注いで頂きたいです。【小瀬】</p>
2 学校運営	4	<p>滋慶学園グループが計画する5か年計画を受け、各校は具体的に各年度事業計画書を作成し、その中で5年後の将来像等構想を描いている。</p> <p>社会(諸環境)の変化に対応できるように、滋慶学園グループの示す毎年の長期・中期・短期展望を基に、滋慶COMグループに属する各々が、短期事業計画を毎年作成している。この事業計画書が各学校における運営の核となるものである。</p> <p>事業計画は、法人常務理事会、法人理事会の決議を受け、承認を得ている。</p> <p>事業計画においては、グループ全体の方針や方向性、組織、各部署における目標や取り組み、職務分掌、各種会議及び研修等々について明確に記載されている。</p> <p>運営組織は、事業計画の核をなす組織目的、運営方針、実行方針と実行計画に基づいたものである。単年度の運営も、中期計画の視点にたって行われる。事業計画書の組織図には学校に係わる人材が明記され、誰もが全員の組織上の位置づけを理解できるようになっている。</p> <p>学校がもっとも大切にしていることとして、滋慶学園グループの中期・短期の事業計画に沿って採用と人材育成を行い、様々な研修において目標達成に向けて、スタッフのスキル面とマインド面の向上を図り、また関わるすべての人が学校の方向性、学校の方針の実現に向けて同じ方向を向くために、各種研修や会議、ミーティングにより、コミュニケーションの重要性を確認している。</p>	<p>さらに良い学校運営を構築していくために、滋慶学園グループの長期・中期・短期展望をしっかりと現場に落とし込み、自校の事業計画を綿密に立てる。</p> <p>またその事業計画に基づき目標達成をするため、様々な研修や会議をより強化し実践していく。</p> <p>様々な研修においては、目標達成のためにスタッフのスキル面とマインド面の向上を図り、また講師も含め学校に関わる全ての人が学校の方向性、方針を理解し実現するため、各種研修や会議によりコミュニケーションと意見交換を重要視し、さらに徹底していく。</p> <p>そして、業界の要望(社会の変化)に対し即座に対応出来るようにするためにも、業界も交えた意見交換を頻繁に図っていく。</p>	<p>事業計画書は、学校におけるすべての部署(広報・教務・就職)について考えられ、また、すべての部署が同じ方針・考え方を理解し、徹底している。</p> <p>学校全体の運営、あるいは各部署の運営が正しく行われるために、様々な研修や会議が設けられ、この研修、会議を通して、個人個人の目標設定及び業務への落とし込みを行い、また常に方向性、位置づけ等を確認できるシステムを構築している。</p>	④・3・2・1	<p>透明性があり、良好だと思います。【関】</p> <p>短年での計画については見えているように思いますが、中期・長期的な計画については現場の方々に落ちてきていないのではないのでしょうか。【川崎】</p> <p>長期的な視野をしっかりと持って学校が運営されている。中・短期の目標に関しても優れたレベルであると思われず。【勝守】</p> <p>五か年計画などを知りたいです。【高橋】</p> <p>卒業生に対してもっとチャンス機会を設けられるといいと思います。【能美】</p>

<p>3 教育活動</p>	<p>3</p>	<p>本校の目的である職業人教育は「専門職業教育」と「キャリア教育」に大別しており、常に業界と密接な関連を持たなければ、教育目標、育成人材像は正しく方向づけられないと考えており、業界の動向を常にキャッチし、その変化に対応して養成目的や教育目標の見直しを毎年実施している。</p> <p>独自の「産学協同教育システム」を構築しており、このシステムにより、業界と乖離することなく、業界に必要な人材を業界と共に育成、輩出できている。教育目標達成のためのカリキュラムは、入学前から卒業まで体系的に編成されているが、常にパフォーミングアーツ教育部会等を通じて研究、見直し等を行っている。</p> <p>カリキュラムは学科に関わるもののみならず、社会的・職業的自立を目指し、「キャリア教育」の視点に立ったものになっている。授業内容の改善、講師の資質向上、教授法の向上等を目的とし、授業評価アンケートを実施している。これは講師や学生の状況を正確に把握し、総合的判断をするための大きな材料となっている。</p> <p>成績評価の基準を明確にし、学生指導を行っているが、明確な基準と共に、柔軟な対応ができる余地を残すことで、すべての学生が学科の目標を達成した上で、進級・卒業できるサポート体制を作っている。</p> <p>資格取得については、就職・就業において付加価値となる範囲で、レコーディングエンジニアコースではJAPRS認定試験、音響（PAエンジニア）においては3級舞台機構調整技能士検定、照明においては2級照明家協会技能検定試験への合格を目指してそれぞれ指導している。</p>	<p>在校中の教育活動は充実しているが、生涯教育として今後は卒業後支援をより強化していく必要がある。</p> <p>例えば卒業デビューを果たした学生（及び継続し目指す学生）の場合、安定するまでに時間がかかることも多く、継続的な学校支援が必要となる。</p> <p>卒業サポートの1つとしてホームページに開設している「デビューバンク」においても、企業からのオファーがさらにかかるような、より良い中身の改善・構築を行っている。</p> <p>また就職した学生においては、早期離職者が出ないように卒業後も細やかなフォローを心がけ、卒業生の動向把握と、企業へのリサーチを同時に行っていく。</p>	<p>本校の教育の柱である「業界に必要な人材を業界と共に育成する」産学協同教育により、即戦力としての実践的技術・知識、ビジネスマインド等を身につける。企業プロジェクトでは、企業からの課題や企業が実践する現場に学生たちが参加することで「現場力」を身に付ける。</p> <p>さらに、業界研修、海外実学研修、特別ゼミ、キャリアセンター・デビューセンターなどを充実させ、職業観・勤労観を養うためのキャリア教育に力をいれている。</p> <p>教育システムのさらなる充実のため、滋慶COMグループの音楽&エンタテインメント系全校から構成する「パフォーミングアーツ教育部会」を設置し、 ①教育指導法・技法の開発 ②カリキュラム検討 ③生涯教育プログラム ④教職員研修 ⑤国際教育システムの開発 ⑥産学協同プロジェクト、卒業研究等について主に研究している。</p>	<p>4・3・2・1</p>	<p>人間教育面での成果も大きいと感じます。 【山口】</p> <p>優れた卒業生はプロとして大いに活躍されており、他の学校には類を見ないレベルだと思う。産学協同教育システムは非常によく機能されていると思います。【勝守】</p> <p>各学科の学生が平等に学べる現場やイベントがもっと増えるといいと思います。【高橋】</p> <p>「キャリア教育」の視点非常に重要だと思いますが、それを重視されている点は高く評価できます。社会はより実力主義となっていくつつある為、就職サポートはさらなる強化が必要になってくるのではないのでしょうか。【川崎】</p>
<p>4 教育成果</p>	<p>3</p>	<p>本校では、滋慶学園の組織目的である「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことを、定数目標として設定している。</p> <p>導入教育から一人ひとりに合わせたカリキュラム作りを念頭に置き、産学協同教育の充実など様々な取り組みに努力を重ね、学生個々への徹底したフォロー、カリキュラムの工夫、担任制度、学生個別カウンセリング等を実施している。</p> <p>専門就職率（就職者／専門分野就職者）100%を達成することが教育の成果であると考え、単に就職率の向上だけでなく、専門就職率・就職対象者率の向上を課題として取り組んでいる。</p> <p>デビューを志望する学生についてもデビュー率向上を課題として各種取り組みをおこなっている。</p>	<p>就職イベント（就職出陣式、業界セミナー等）の内容、開催時期を再考し、より学生の就労意識、職業感、業界理解を促すことで、さらなる早期就職率のアップを目指す。</p> <p>また、キャリアセンター担当者や担任が連携して企業研究の手助け・履歴書添削・模擬面接等を行い、学生それぞれの志望職種や志望企業を明確にし、学生と企業のマッチング率を高め、専門就職の向上を目指していく。</p> <p>デビューにおいては就職同様にデビューガイダンス等のデビューイベントを開催し、デビューに向けて必要な心構えなどの意識向上を図っているが、今後その内容の工夫にも着手していく。</p> <p>またキャリアセンター担当者・担任それぞれが企業訪問を強化することで、新たな企業プロジェクトの構築とともに、求人票のさらなる獲得を目指す。</p>	<p>滋慶学園グループでは、「一人ひとりを大切に」という考えのもとに教育活動をしているが、本校でも常に学生を第一に考え、様々な支援体制を整備している。</p> <p>その中でも「就職」「デビュー」は学生が目標を達成し、業界で活躍するための最重要事項であると考え、専門部署のキャリアセンター/デビューセンターを設置し、業界現場での実践研修である「業界研修」のコーディネートから、個別相談、就職デビュー対策講座、就職デビュー支援イベントの開催、就職輪旋等々、就職デビューに関するあらゆる支援を行っている。</p> <p>また、求人情報等を学生が自宅のパソコンでも閲覧できる就職支援システム「サクセスナビ」などのシステムも構築し、迅速な対応ができるよう支援している。</p> <p>「教育」については、教育環境を整備し、成果を上げている。即戦力の人材を育成するための施設・設備、機材等々を完備し、また業界ニーズとブレのないカリキュラムの構築、業界第一線で活躍する講師陣による授業など、オンリーワンを目指す学校として十二分な体制を確立している。</p>	<p>4・3・2・1</p>	<p>沢山の卒業生が業界で頑張っています【井上】</p> <p>卒業してすぐにデビューしてプロになるのは難しい側面がある為、キャリアセンターのフォローやデビューガイダンスなどを卒業生にも活用してはどうでしょうか。【能美】</p> <p>大変成果を上げている学科もあれば、そうでない学科もあるように感じます。全体的な底上げを目指す必要があると思います。【勝守】</p> <p>新しい人材を求めている企業や団体は多いので、さらに広く新しい場所を見つけて行く価値はあるように感じます。【高橋】</p>

<p>5 学生支援</p>	<p>4</p>	<p>学生が目標を達成するためには、学業の面と生活環境面の両面から環境を整備していくこと支援が必要だと考える。しかし、支援はあくまでも支援である。例えば、健康の維持は学業目標達成には欠かせない事項であり、本校でも健康診断にとどまらず、多くの支援体制を築き上げているが、学生本人が健康管理についての自覚を持たない場合、支援は効果がない。それゆえ、学生支援はまず学生の自立的行動を促すことから始めている。</p> <p>学生支援には、① 学生生活 ② 健康 ③ 学費 ④ 保護者との連携 ⑤ 学業 ⑥ 就職・デビュー ⑦ 卒業支援などの分野で行っているが、それぞれの分野で対応できる担当部署及び担当者を置いている。</p> <p>① 学生生活については、各担任を中心に、別途精神的なケアのためのSSC(スチューデント・サービス・センター)という悩みや相談を受ける専門部署を置き支援し、学業と併せて中途退学にならないよう支援している。</p> <p>② 健康については、滋慶学園グループのクリニックである慶生会クリニック(葛西)が担当し、在学中の健康管理を支援している。</p> <p>③ 学費については、相談窓口として事務局会計課を置き、提供できる学費面でのサービスをアドバイスするファイナンシャルアドバイザーにより支援している。</p> <p>④ 保護者連携については、入学前、そして入学後についても保護者会を開催し、本校の取り組みへの理解と、現状報告を行い、目標を共有し、学校と保護者が連携して学生の支援が行える体制作りを整えている。</p> <p>⑤ 学業については、担任が授業の出席状況などを逐一把握し声掛けをしている。また各授業を受け持つ講師との連携も徹底し、学生の動向を把握、支援している。</p> <p>⑥ 就職については、専門部署であるキャリアセンターを設置し、担任との強い連携をとりながら、就職の相談、斡旋、面接他各種指導などの支援をしている。また、デビューでは、デビューセンターを設置し、企業の招聘・オーディションの開催・プログラムの充実を図り支援している。</p> <p>⑦ 卒業支援については、キャリアセンターが事務局となって実施する同窓会他、デビューセンターが中心となっているデビュー支援など、生涯にわたって支援を継続していく。</p>	<p>学生個々の徹底したフォロー、担任・保護者・カウンセラーとの連携、カリキュラムの工夫、担任力の強化を継続して行っていく。</p> <p>中途退学については、精神的な問題や経済的な問題を抱える学生が増えてきている昨今、保護者や奨学金担当者やSSC(スチューデント・サービス・センター)などとの連携がより重要視されている。そのため入学時にサポートアンケートを実施し、学生個々の性格や特長を把握し対応しているが、さらに細やかなケアをしていく必要がある。</p> <p>また学校からの支援だけでなく、学生同士の支え合い、居場所づくりも重要となるため、サークル活動の推進にもさらに注力していく。</p>	<p>本校では「一人ひとり大切に」という考えのもと教育に当たり、学生を第一に考え、様々な支援体制を整備しており、学生が目標を達成できるよう、保護者の方々との三位一体での支援体制を実践している。</p> <p>精神面で問題を抱えている学生に対してはスチューデント・サービスセンター(SSC)を設置し、スクールカウンセラーが常駐しておりカウンセリングを行っている。</p> <p>更に、まだ日本語に不慣れな留学生に対しての日本語フォローアップ授業や、学科を超えた学生の交流を促し居場所づくりに役立つようサークル活動による居場所を作る為の支援などを実施し、卒業まで導き退学率減少に繋がっている。</p> <p>退学率では、目標に向けたカウンセリングの強化・目標の変更に対応するため転校・転科・転コース等進路変更説明会、学費相談会・保護者会の充実・講師との学生が抱える問題の共有などの学生の「なぜ？」に答える」をキーワードに現状以上に体制を整えていく。</p>	<p>④ 3・2・1</p>	<p>「デビュー」を目標とした場合、どこを成果とすべきか難しい側面があるので、デビュー以外の出口も考えて行くべきである【井上】</p> <p>①～⑤に関してはよくできていると感じます。⑥～⑦に関しては学生や卒業生の個人の意思にもよる為、支援の方法がより能動的になるとも思っています。【川崎】</p> <p>第一線で活躍をする講師をもっと採用されるべきだと思います。【山口】</p> <p>今後はこういったストロングポイントをさらに伸ばし、もっと独創性を出されるといいと思います。【勝守】</p> <p>在校生の支援は大変よくされているように思いますが、決して過保護にする必要はないと思います。【高橋】</p>
<p>6 教育環境</p>	<p>3</p>	<p>施設・設備、機材等は業界で即戦力となり得る人材を育成するためのものであり、最新・最良のものを完備する考えで運営しており、教育上、充分な対応ができていると考える。毎年事業計画に基づいた予算を計上し、業界の変化に対応した設備・機材の更新が出来ている。</p> <p>業界研修(インターンシップ)においては、企業側と綿密な連携をとり、十二分な学習環境を設定している。また、海外実学研修では、それぞれの学科等において大きな学習効果の得られる教育機関・企業と連携し、ワークショップを行っており、充分な教育体制を整備していると考えられる。</p> <p>本校では、教職員が常に災害を意識している。毎年、教職員、学生の防災訓練を実施し、地震や津波、火災等の際の避難訓練経路を確認するなど、防災体制を確立し、チェックしている。</p>	<p>パソコン等の設備は日進月歩で常に新しいものが開発されている。また他にも音楽に関係する機材にも同様なことが言えるためにより業界と連携し、最適な学習環境を提供するために、常に優先順位を決めて対応していく必要がある。</p> <p>休憩スペースについては、時間によって非常に混雑することもあるため、スペースの効率的な利用法を模索したり、学生の時間管理によって別途スペースを設けるなどの対応策を考え、学生満足度を高めている。</p> <p>また教材に「iPad」を採用し、ポートフォリオ(自己作品集)として即座に自分をプレゼンテーション出来るような教育的効果も図っているが、SNSの問題等新たな課題が生まれているので、そのような点でも業界マナーとしての指導強化に努める必要がある。</p>	<p>本校では常に教育効果を考慮し、現状の業界環境と今後の展望をサーチの上、機材等の購入を実施している。また、PC関連機材についてはメンテナンスが重要であり、学園サポート企業と綿密な連携を計りその対応にあたっている。</p> <p>業界研修(インターンシップ)の教育効果と成果は非常に高いものがあるが、単なる学習の場としてだけでなく、毎年、この研修から多くの就職内定に結びついている。また、海外研修は本校の建学理念の1つである「国際教育」実現に大きな役割を果たしている。</p> <p>教職員対象の防火訓練、教職員・学生対象の避難訓練を毎年実施し、災害に備えている。そのため、マニュアルを整備し、教職員の役割分担作成・確認、学生への情報提供など、体制は整備されている。</p> <p>毎年、事業計画で計画し、予算計上の上、計画通りに購入・更新等を行っているが、これ以外の学外教育環境も教務部、キャリアセンター、国際部が一丸となって整備しており、これは本校の大きな強みであると考えている。</p>	<p>4・③・2・1</p>	<p>学生の立場に立って支援がされているように思います。【井上】</p> <p>教育環境・インフラ的には素晴らしいと思います。【川崎】</p> <p>iPadを導入するなど、大変素晴らしいと思いますが、さらに有効的に活用する工夫をされるとも思っています。【勝守】</p> <p>授業に必要な機材、イベントに必要な機材を分けて考えて購入計画を立てられるといいと思います。PCソフトは今以上の対応が求められている為、スピードと優先順位をよく検討して購入されればいいと思います。【小瀬】</p>

<p>7 学生の募集と受け入れ</p>	<p>4</p>	<p>本校は、東京都専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容(AO 入試等も)を遵守している。また過大な広告を一切廃し、必要な場合は根拠数字を記載するなど、適切な学校募集ができるように配慮している。</p> <p>さらに、広告倫理委員会を設置し、広報活動の適切さをチェックしている。広報・告知に関しては、各種媒体、入学案内、説明会への参加やホームページを活用して、学校告知を実施し、教育内容等を正しく知ってもらうように努めている。</p> <p>これらすべての広報活動等において収集した個人情報・出願・新入生の個人情報等本校に関わるものの個人情報は、校内に個人情報委員会を設置し、厳重に管理し、流出及び他目的に使用しないように、管理の徹底を図っている。</p> <p>入学選考に関しては、出願受付及び選考日を学生募集要項に明示し、決められた日程に実施しているが、入学選考後は、「入学選考会議」により、可否を決定する。</p> <p>なお、本校における入学選考は、学生募集要項にも明示している通り、「面接選考」及び「書類選考」であるが、その基準となるのは、「目的意識」である。将来目指す業界への職業意識や具体的な目標がしっかりしているかを確認すると共に、その目的が本校より提供する教育プログラム及びカリキュラムにおいて実現可能かを確認するもので、入学試験という名称のもと、学科試験を行うものではない。</p> <p>学納金や預かり金、教材等の見直しを毎年行っており、学費及び諸経費の無駄な支出をチェックしている。</p> <p>保護者への授業料及び諸経費の提示についても、入学前の段階において、年間必要額を学生募集要項に明記し、基本的に期中で追加徴収を行わない。</p>	<p>本校の強みである、専門就職実績とデビュー実績、またそれに伴う卒業生の活躍は教育成果として打ち出しを強化しており、充分にかつ正確に伝えられていると考えている。またそれを今後も徹底して行く。</p> <p>資料請求媒体誌、学校案内書、ホームページ、説明会等、一貫性のある学生募集活動を展開していることで、教育成果はより明確になっていると考える。またそれを今後も徹底して行く。</p> <p>これらすべての広報活動等において収集した個人情報・出願・新入生の個人情報等本校に関わるものの個人情報は、校内に個人情報保護委員会を設置し、厳重に管理し、流出及び他目的に使用しないように、管理をさらに徹底をさせる。</p>	<p>学生募集については、募集開始時期、募集内容等々ルールを遵守し、また、過大な広告を一切排除し、厳正な学生募集に配慮している。</p> <p>広報活動では「学校の特色を理解してもらう」ことを強化している。</p> <p>本校は専門就職を果たしてもらうことを第一目標としているため、入学前に職業イメージをどれだけ明確になっているかが大切と考え、職業体験や説明会への複数回参加を促し、充分理解し、疑問を解消した上で出願してもらうことを心がけている。</p> <p>教育成果として、高い専門就職実績と卒業生の活躍の打ち出しを強化しており、学生募集上の効果はかなり高いと考えるが、それゆえ、過大な広告にならないよう、学内に広告倫理委員会を設置し、事務局長、広報主任等が常にチェックしている。</p> <p>本校は、一般社団法人日本プライバシー認証機構「TRUSTe」の国際規格の認証を受けている。</p>	<p>4 3・2・1</p>	<p>誇大広告等は一切なく、生徒・保護者は体験学習を通じて入学を決意している為良好である。【能美】</p> <p>良くできていると思います。【川崎】</p> <p>媒体に合わせて、細かく広報内容を変えるなどの戦略を立てられればいいと思います。【勝守】</p> <p>時代に合わせて広告等も進化されてもいいと思います。【高橋】</p> <p>学生募集は大変よく努力されているように感じます。【小潮】</p>
<p>8 財務</p>	<p>4</p>	<p>財務は、学校運営に関して、重要な要素の1つである。その中で予算(収支計画)は学校運営に不可欠なものであって、その予算を正確かつ実現可能なものとして作成する必要がある。</p> <p>毎年、次年度事業計画を作成し、その事業計画の中に5ヶ年の収支予算を立てているが、次年度の収支予算はもちろんのこと、中長期的に予算を立てることによって、学校の財務基盤を安定させるための計画を事前に組んでおくのが目的である。</p>	<p>5ヶ年の予算は、5ヶ年を見越した中長期的事業計画内で、新学科構想、設備支出等について計画し、将来の学生数、広報・就職計画を鑑みながら予測し、収支計画を作成するが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするため、より現実に対応した予算編成となっており、健全な学校運営ができていていると考えている。</p> <p>会計監査は、法人及び学校の利害関係者に対して、法人等の正確かつ信頼できる情報を提供するために、第三者による監査人が法人とは独立した計算書類が適切かどうかを監査することを意味する。</p> <p>平成17年4月から私立学校法が改正され、学校法人の財務情報公開が義務づけられたが、これに迅速に取り組み、「財務情報公開規程」及び情報公開マニュアルを作成し、現在に至っているが、財務情報公開の体制は整った。</p>	<p>予算を正確かつ実現可能なものにするための2つの要素がある。</p> <p>①正確かつ実現可能な予算の作成</p> <p>予算は短期的、中長期的の2種類がある。短期的は次期1期間のもの、中長期的は2～5年間のものである。</p> <p>当学校法人及び学校では、短期的と中長期的の両方を事業計画書として作成し、短期的視野と中長期的視野の2つの観点から予算編成している。短期的な予算編成は当年度の実績を基礎に次年度に予定している業務計画を加味して行われる。中長期的な予算編成は主として大規模な計画を視野に入れた上で、業界の情勢を読み取りながら行われる。</p> <p>正確かつ実現可能な予算作成のためには、一旦作成した予算が現実のものとならぬ場合はそれを修正する必要がある。そのために短期的な予算においては期中に「修正予算」を組み、中長期的な予算においては毎年編成しなおすことにしている。これにより、短期的にも中長期的にも正確かつ実現可能な予算編成を組み合わせることができる。</p> <p>②①のための体制作り</p> <p>①のように実現可能な予算作成するためには、その体制作りが必要になる。</p> <p>事業計画・予算は学校責任者が協議して作成し、滋慶学園本部がチェックし、修正して最終的に理事会・評議員会が承認する体制を整えている。</p> <p>さらに、予算に基づいて学校運営がなされているかどうかは四半期ごとに予算実績対比を出し、学校責任者と学園本部が協議し予算と実績が乖離しているようであれば修正予算を編成し、理事会・評議員会の承認を得る。</p> <p>作成した決算書、事業報告書については、情報公開の対象となり、利害関係者の閲覧に供することとなる。</p>	<p>4 3・2・1</p>	<p>特にございません。【川崎】</p>

<p>9 法令等の遵守</p>	<p>4</p>	<p>法令を遵守するという考えは、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。</p> <p>法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断している。現状では、学校運営(学科運営)が適切かどうかは次ぎの各調査等においてチェックできるようにしている。</p> <p>① 学校法人調査 ② 自己点検・自己評価 ③ 学校基礎調査 ④ 専修学校各種学校調査等である。</p> <p>組織体制強化やシステム構築にも努め、次のようなものがある。</p> <p>(A)組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ)</p> <p>(B)システム(管理システム) ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④部品購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ)</p> <p>滋慶学園グループ、滋慶学園COMグループと全体というスケールメリットを活かし、各委員会、体制、システムにより、各校が常に健在な学校(学科)運営ができるようにしている。</p>	<p>法令や設置基準の遵守に対する方針は明文化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは完全に整備できている。</p> <p>教職員が学園の方針を理解し、実行に努める。</p>	<p>すべての法令を遵守するとともに、社会規範を尊重し、高い倫理観に基づき、社会人としての良識に従い、行動することが私たちの重要な社会的使命と認識し、実践する。</p> <p>方針実行のため、学内にコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスを確実に実践・推進に当たらせることにした。</p> <p>委員長は、統括責任者としての学校の役員が就任する。委員は学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長で構成される。</p> <p>主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発の防止対策の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のためのPR、啓蒙文書等の作成・配布である。</p>	<p>④・3・2・1</p>	<p>現状を見る限り、問題はないように思います。【川崎】</p> <p>学校全体としてしっかり取り組んでらっしゃるように見受けられます。【高橋】</p>
<p>10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>4</p>	<p>滋慶学園グループの「職業人教育を通じて社会に貢献する」を実現のために3つの建学の理念を実践し、「4つの信頼」(①学生・保護者からの信頼 ②高等学校からの信頼 ③業界からの信頼 ④地域からの信頼)を得るコンセプトがあり、この「4つの信頼」の獲得を目指すことが社会貢献に繋がると考えている。</p> <p>例えば、公演回数が100回を超える骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」では、骨髄移植推進財団の後援・厚生労働省の推薦、業界企業や団体からの支援をいただき、出演・運営・制作の全てを学生が作り上げ、骨髄移植の理解を広める活動と、募金活動を行っている。また、来場者には多くの著名人や中学・高校の総合学習の時間を使った観覧があり、生きることの素晴らしさを訴えている。</p> <p>地域の方々为主催するイベントへの出演やスタッフ参加をするなど、「地域からの信頼」につながる努力をしている。</p> <p>また、本校スタッフ・本校講師・卒業生が高校へ出向いて行う特別講義、部活動支援等では、「高等学校からの信頼」につながると確信している。</p> <p>滋慶学園グループが推進する「地球温暖化防止対策」運動で節電、冷房温度28度設定、階段利用(2アップ3ダウン)や、イベント等におけるゴミ削減、資源有効利用等々を行っている。</p> <p>それらの教育活動を通じて「学生・保護者の信頼」につながるよう努力している。特別なことをするわけではなく、滋慶学園グループが掲げる「4つの信頼」の獲得を目指すことが、すなわち社会貢献を果たすことに繋がっていると考えている。</p>	<p>音楽&エンターテインメントはそれを通じ、多くの人々に「喜び」「楽しみ」「感動」を与えられるものとして、学校は学生と一緒に社会に貢献できるイベント等をこれからも構築していく。</p> <p>学園祭の開催や、地域のイベントに協力することを通じて、地域の活性化に貢献し、さらに近隣の高等学校や地域の方々との協力体制をより整え、イベント開催などを通じて、学生達が自分達の学んでいるものを通じてどのように社会貢献が出来るのかを実感させていきたい。</p>	<p>本校では、教職員及び学生たちが、常に社会貢献を意識した活動を行っている。「学生・保護者からの信頼」、「高等学校からの信頼」、「業界からの信頼」、「地域からの信頼」という、滋慶学園グループの「4つの信頼」獲得に繋がり、その結果が社会貢献を果たすことに繋がっている。</p> <p>例えば、「江戸川区民よさこいまつり」においては、来場されるお客様や出演者の誘導などの運営スタッフと、ステージ全体の音響スタッフとして参加させて頂いていたり、「古川まつり」においてはここ数年毎年ダンスチームの出演依頼を頂いたり等、音楽エンターテインメントを通じて地域との交流を図ることに成功している。</p>	<p>④・3・2・1</p>	<p>各地でしっかり地域密着が出来ているように見えます。また、明日への扉を通じて社会への貢献も出来ていると思います。【川崎】</p> <p>節電の意識は常に持って頂きたい。【山口】</p>